



ふくい社会福祉

ふれあいネットワーク

3

No.409



温故知新 ～一途に社協道～

福井県の花 水仙

日本海のきびしい風雪に耐えぬいて
寒中に咲くこの花の忍耐強さは、
県民性に通ずるといわれています。



写真提供：越前岬水仙ランド



希望の灯りに想いを重ね

3.11希望の灯り”で つなぐ絆プロジェクト

甚大な被害をもたらし、多くの方々が犠牲となられた東日本大震災から4年
今年も「3.11希望の灯りでつなぐ絆プロジェクト」として、震災で失われた尊い命への慰霊と被災地の復興に向けた希望や願いをできるだけ多くの方々と分かち合うため、3月11日から17日までの一週間、県社協および県内の市町社協において一斉に希望の灯りを点灯します。



福島県相双地域等への介護職員等の応援事業

現地活動からメッセージ

東日本大震災被災地の支援ニーズを踏まえ、引き続き福島県社会福祉法人経営者協議会(白藤昭武会長)では、福島県相双地域へ本県より介護職員等の派遣に取り組んできました(平成26年10月1日~11月30日)。震災から4年「人が人を支える」継続的な活動が着実に進んでおり、福祉関係者の組織力を今後も活かして実践することにより、その存在意義の一面がみえてくると考えます。

今回、応援にあたった県内4名の施設職員の方々の支援活動から想いを伝え、あらためて「最大の支援は忘れないこと」を県民の皆様と共に大切にしていきたいと思います。

福島県被災施設で応援した職員(4人)のコメント



足羽福祉会

西田 勝俊 さん

現地で見えた「できる人が、できる時に、できる事をする」という言葉を忘れず、福島の継続的な支援をしていきたいです。



わかたけ共済部

玉川 優子 さん

3.11の映像を衝撃的にみたあの思いを忘れず、また被災された方の思いを忘れずにいたいと思います。



わかたけ共済部

中村 智美 さん

まだまだ大変なことも多いと思いますが、みなさん笑顔で頑張っておられることが凄いいと思います。



光道園

林 千明 さん

一人ひとりの思いと一日いちにちの積み重ねが復興につながっていると思います。遠くからですが応援しています。

「ひきこもり支援」を通じて探る地域福祉の可能性 『市町社協トップセミナー』から見えてきたこと

総合テーマは、「新たな福祉課題に立ち向かう地域づくりへの挑戦」。
4月からの福祉・介護関連法の改正や生活困窮者支援制度のスタート
を前に、改めて社協の経営や地域ぐるみの福祉実践の課題を共有しよう
と、今年度の「市町社協トップセミナー」（県市町社協会長会研修会と
の共催）が1月13日、14日の両日、福井市内で開催されました。



ワンシード 吉田代表理事

「ひきこもり支援」の先例から学ぶ

セミナーには、市町社協の会長、副会
長をはじめとする役職員等67名が参加し
ました。

今回は、「ひきこもり支援」という課
題に地域ぐるみで向き合ってきた秋田県
藤里町社協の菊池まゆみ常務理事に来福
いただき、セミナーの総合テーマに関わ
る課題提起を行っていただきました。

「福祉でまちづくり」を住民とともに

藤里町社協では、平成14年頃から、一
人暮らし高齢者などを中心とするそれま
での弱者支援の取り組みからの転換を図っ
ています。

そんな中、地域の高齢者からの「家に
ひきこもっている若い人がたくさんい
る」という相談をきっかけに「ひきこも
り」状態にある人の把握が行われます。

その結果、人口約3,000人のまち
に100名を超える「ひきこもり者」の
存在が確認され、これが藤里町社協の新
たな挑戦へとつながっていきます。

「福祉職だからできる支援は何か」を



藤里町社協 菊池常務理事

念頭に、「地域に暮らす人たちが地域が
求めていることに対応」しながら、『福
祉でまちづくり』（＝福祉による地域活
性化）を合言葉にした実践が展開されま
す。

こうした実践の過程で、住民にひきこ
もりを特別視する傾向やひきこもりの捉
え方に幅があること、また一度失敗した
らリカバリしづらく、「負け組」のレッ
テルを受け入れざるを得ない実態がある
ことが浮かび上がってきます。

加えて、本人や家族は既にやるべきこ
とをいろいろやっているにも関わらず、
問題が深刻化し、手遅れになった時点で
しか問題が顕在化してこないことも大き
な課題の一つになっていたそうです。

ひきこもり者の力をまちの力に

実践の当初は、ひきこもりなどで生活
に困難を抱える人たちの居場所づくりや
訪問活動を試みますが思うような成果が
得られません。

そんな中、社協職員の採用試験に応募
してきた一人のひきこもりの青年との出
会いをきっかけに、本人のニーズや訴え
が「働く能力がないのではなく、働ける
場を求めている」ことに気づいたそう
です。

こうして始まった就労支援の拠点「こ
みつと」での活動を通じて、人に感謝さ
れる喜びや自分の可能性に気づき、自己
効力感をもてる若者が増えただけでな
く、彼ら自身が高齢化のすすむまちの活
性化に不可欠な大きな力になっていった
とのお話もありました。

菊池常務理事からは、「まちづくりの
主役が誰なのか」、「みんなの支え合いや
信頼、知恵の出し合いで『地域福祉』を
すすめていくことの大切さ」についての
課題提起をいただくことができました。

「その人のための福祉」をつくる実践例

今回のセミナーでは、制度の狭間・隙
間の福祉課題に正面から向き合っている
県内の事例として、一般社団法人ワン
シード（敦賀市）の吉田こずえ代表理事
からも実践報告を行っていただきました。

年齢、障がいの有無や程度、どんな生
活問題に関わらず、多様な人との出会
いや自分の役割を発見できる居場所づく
りに取り組み、「制度に合わせた支援で

はなく、その人や地
域が求めていること
に的確に対応できる
実践に地道に取り組
んでいきたい」と話
す吉田代表理事の言
葉からは、「ワンシー
ド＝一粒の種まき」
という法人名に込め
た強い信念が伝わっ
てきました。



社協トップが描く2015年の 行動スローガン

セミナー2日目は、前日の講演等を踏
まえて、参加者間で協議しながら「行動
スローガン2015」づくりを行いました。
た。

今回集約された行動スローガンのキー
ワードは、次のとおりです。

【住民の総合力で福祉のまちづくり】
【連携と行動】／【心のつながり】
【千里の道も一歩から】／【見守り】
【地域に根ざした身近な社協】／【人づくり】

福祉課題に向き合える まちづくりをめざして

今回のセミナーでは、①社協は地域が
求めていることに真つすぐに向き合う、
②地域に暮らす一人ひとりが自己効力感
を味わる場がある、③誰もが自分の力
を信じ、それらがつながっていく過程で
まちづくりの原動力が生み出される、こ
とを改めて確認することができました。

活用して
みませんか？

社会福祉関連民間助成事業の紹介

企業や団体の中には福祉団体やボランティアグループ等を対象に様々な助成事業を行っているところがあります。

各団体より本会に周知依頼のあったものについてご紹介します。助成金を上手に活用して、活動のさらなる発展を目指してみませんか？

※以下の一覧表は、本会ホームページ (<http://www.f-shakyo.or.jp/>) からダウンロードできます。

【平成 26 年度実績】

名 称	助成対象	助成対象事業	助成額	申込締切	問合せ先 (TEL)
福祉医療機構 「社会福祉振興助成事業」	民間の非営利活動団体・グループ (法人格の有無は不問)	福祉活動支援活動、地域連携活動支援事業等、全国的・広域的ネットワーク活動支援事業	各部門別に助成限度額を設けている	4 月末日	(独) 福祉医療機構 03-3438-9945
福井県しあわせ福祉資金 助成事業	NPO 法人、ボランティア団体等	障がい者、高齢者、児童等の社会参加または自立更生の機会と便宜を提供する等の、直接的な援助活動。	20 万円	4 月末日	福井県地域福祉課 地域健康福祉グループ 0776-20-0326
生命保険協会 「子育て家庭支援団体に対する助成活動」	非営利の民間団体・グループ (NPO 法人含む)	就学前の子どもの保護者等 (妊婦等を含む) に対する支援活動等。	25 万円	4 月末日	(一社) 生命保険協会 福井県事務室 0776-25-0107
キリン福祉財団 「キリン・子ども「力」 応援事業公募助成」	18 歳以下のメンバーが中心となって活動する 4 名以上のグループ	地域における子育てに関わるボランティア活動。	30 万円	4 月末日	(公財) キリン福祉財団 03-6837-7013
福井県社会福祉協議会 「まごころ基金助成」	民間の非営利活動団体・グループ (法人格の有無は不問)	高齢者・障がい者・児童の福祉の充実を図ることを目的とする事業	20 万円	5 月下旬	(福) 福井県社会福祉協議会 0776-24-2339
みずほ教育福祉財団 「老後を豊かにするボランティア活動資金」	社会福祉法人、社団法人、NPO 法人等	高齢者の日常生活援助、生活環境の向上、レクリエーション、他世代との交流を図る等のボランティア活動。	10 万円	5 月下旬	(公財) みずほ教育福祉財団 03-3596-4532
大同生命厚生事業団 「地域保健福祉研究助成」	保健・医療・福祉の実務従事者等	地域保健及び福祉に関する研究等。	30 万円	5 月末日	(公財) 大同生命厚生事業団 06-6447-7101
大同生命厚生事業団 「サラリーマン (ウーマン) ボランティア活動助成」	社会福祉分野のボランティア個人・グループ	高齢者・障がい者福祉に関するボランティア活動。子どもの健全な心を養うための交流ボランティア活動。	10 万円	5 月末日	(公財) 大同生命厚生事業団 06-6447-7101
大同生命厚生事業団 「シニア・ボランティア活動助成」	社会福祉分野のボランティア個人 (年齢 60 歳以上)・グループ	高齢者・障がい者福祉に関するボランティア活動。子どもの健全な心を養うための交流ボランティア活動。	10 万円	5 月末日	(公財) 大同生命厚生事業団 06-6447-7101
丸紅基金 「社会福祉助成金」	非営利法人	社会福祉事業 (福祉施設の運営、福祉活動など) を行う民間の団体が企画する事業。	200 万円	5 月末日	(福) 丸紅基金 03-3282-7591
毎日新聞東京社会事業団 「毎日社会福祉顕彰」推薦	社会福祉関係者および団体等	社会貢献の功績、特定分野の功績	賞牌および賞金 100 万円	5 月末日	(公財) 毎日新聞東京社会事業団 03-3213-2674
日本生命財団 「高齢社会助成」	①社会福祉法人、NPO 法人など ②研究者、実践家など	①地域福祉チャレンジ活動助成…高齢社会における地域福祉、まちづくりを目指す地域を基盤とした事業等。 ②実践的研究助成…高齢社会における地域福祉まちづくりを探索する実践的研究等。	各部門別に助成限度額を設けている	① 5 月末日 ② 6 月中旬	(公財) 日本生命財団 06-6204-4013
読売新聞社 「よみうり子育て応援団大賞」	子どもや親を対象にした支援活動を行う民間のグループ、団体	子育てサークル、男性の育児参加などの活動。	大賞・・・ 賞金 200 万円 奨励賞・・・ 賞金 100 万円	6 月上旬	読売新聞大本社「よみうり 子育て応援団大賞」事務局 06-6881-7228
みずほ教育福祉財団 「配食用小型電気自動車寄贈 事業」	ボランティアグループ、NPO 法人等	高齢者向け配食サービス	1 台総額 100 万円	6 月中旬	(公財) みずほ教育福祉財団 03-3596-4532
ファイザー 「心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援」	民間の非営利活動団体 (法人格の有無は不問)	中堅世代の人々の心身のケアに関する課題等の課題解決のために、市民団体が行う市民活動および市民研究。	300 万円	6 月中旬	ファイザー株式会社 ファイザープログラム事務局 03-5623-5055
日本財団 「福祉車両助成事業」	非営利団体等	在宅サービス、通所サービス、就労支援のための車両配備	当該財団指定車種から希望車両を選ぶラインナップ型	6 月中旬	(公財) 日本財団 03-6229-5111
太陽生命厚生財団 「社会福祉助成事業」	ボランティアグループ、NPO 法人等 (法人格の有無は不問)	①在宅高齢者、在宅障がい者の自助・自立を支援する事業等。 ②老人保健、高齢者福祉に関する研究・調査。	各部門別に助成限度額を設けている	6 月末日	(公財) 太陽生命厚生財団 03-6674-1217
伊藤忠記念財団 「子ども文庫助成」	ボランティア団体、個人	子ども達の読書啓発活動、指導等。	各部門別に助成限度額を設けている	6 月末日	(公社) 読書推進運動協議会 03-3260-3071
みずほ福祉助成財団 「社会福祉助成金」	非営利法人、任意団体、ボランティアグループ等または研究グループ (個人を除く)	障がい者 (児) に関する民間の事業や研究。	事業助成・・・ 15～120 万円 研究助成・・・ 120 万円	6 月末日	(公財) みずほ福祉助成財団 03-3596-5633
みずほ福祉助成財団 「電動車椅子贈呈」	社会福祉法人が運営する障害児者福祉施設	電動車椅子の導入について必要度、緊急度が高い施設など。	1 施設につき 1 台	7 月末日	(公財) みずほ福祉助成財団 03-3596-5633
清水基金 「一般助成事業」	障がい児・者の各関係施設を経営する民間社会福祉法人	利用者のために必要な建物 (新築、改修、増改築)・車両・機器等。	上限 700 万円	7 月末日	(福) 清水基金 03-3273-3503
松翁会 「社会福祉助成金」	法人施設、団体 (個人は不可)	社会福祉に関する民間の事業、研究等。	60 万円	7 月末日	(一財) 松翁会 03-3201-3225
日本おもちゃ図書館財団 「助成金」	おもちゃ図書館を運営する団体	おもちゃの購入、手作りおもちゃのための材料、おもちゃ図書館整備のためのジュウタン、おもちゃ格納戸棚、おもちゃ陳列棚の購入に要する費用。	A 申請・・・ 30 万円 B 申請・・・ 一律 5 万円	8 月中旬	(一財) 日本おもちゃ図書館財団 03-6435-2842
植山つる 「児童福祉研究奨励基金」	児童福祉施設に働く職員	研究 A・・・児童福祉に関する自主研究 研究 B・・・児童福祉に関する自主研究でさらに成果を発展させるための共同研究	各部門別に助成限度額を設けている	9 月上旬	(福) 全国社会福祉協議会 児童部 03-3581-6503

名 称	助成対象	助成対象事業	助成額	申込締切	問合せ先 (TEL)
大和証券福祉財団 「ボランティア活動助成」	ボランティア団体・グループ	在宅高齢者、障がい児・者、児童問題等に対するボランティア活動。	30 万円	9 月中旬	(公財) 大和証券福祉財団 03-5555-4640
社会福祉事業研究開発基金 「助成事業」	社会福祉法人、NPO法人、ボランティア団体等	社会的課題となっており対応が急務となっている民間の支援事業。(精神障がい者・児童虐待防止・更生保護の活動・認知症に関する支援事業等)。	一般助成・・・ 40万円 特別助成・・・ 70万円	9 月末日	(福)社会福祉事業研究 開発基金 03-6256-3581
TOTO 株式会社 「TOTO 水環境基金」	営利を目的としない市民活動団体(法人格の有無、種類は不問)	地域の水と暮らしの新しい文化の実現に向けた実践活動等。	活動内容を精査の上、助成金額決定	9 月末日	TOTO 株式会社 総務部 TOTO 水環境基金 093-951-2224
生命保険協会 「元気シニア応援団体に対する助成活動」	非営利の民間団体・グループ (NPO 法人含む)	高齢者を対象にした健康管理、増進、自立支援、生きがいづくりを目的とする事業等。	15 万円	10 月中旬	(一社) 生命保険協会 03-3286-2643
都市緑化機構 「花王・みんなの森づくり活動助成」	緑化活動団体等	市民による「森づくり活動」と「環境教育活動」。	各部門別に助成限度額を設けている	10 月末日	(公財) 都市緑化機構 03-5256-7161
損保ジャパン記念財団 「NPO 基盤強化資金助成」	認定 NPO 法人取得を計画している特定非営利法人	認定 NPO 法人の取得に関する費用。	30 万円	10 月末日	(公財) 損保ジャパン記念財団 03-3349-9570
キリン福祉財団 「キリン・シルバー「力」応援事業公募助成」	65 歳以上のメンバーが中心となって活動する 4 名以上のグループ	高齢者が、地域のために、その知識・技術・経験を活用するグループによるボランティア活動	30 万円	10 月末日	(公財) キリン福祉財団 03-6837-7013
日本たばこ産業 「NPO 助成事業」	1 年以上の活動実績をもつ非営利法人	地域と一体となって「地域コミュニティの再生と活性化」に取り組む事業等。	150 万円	11 月中旬	日本たばこ産業㈱ 03-5572-4290
日本郵便株式会社 「年賀寄附金配分金」	営利を目的としない公益の増進に寄与する法人格を持つ団体	社会福祉の増進を目的とする事業等。	各部門別に助成限度額を設けている	11 月中旬	日本郵便㈱ 年賀寄附金事務局 03-3504-4401
愛恵福祉支援財団 「助成事業」	社会福祉法人、特定非営利法人、任意団体	事業運営に必要な設備備品の購入など。	20 万円	11 月中旬	愛恵福祉支援財団 03-5961-9711
コーポレートガバナンス協会 「北川奨励賞」	難病や障がいをもつ子どもとその家族対象のボランティアグループ、個人。	難病や障がいをもつ子どもとその家族の支援に対する社会医学的な実践、セルフヘルプ活動、ボランティア活動等。	50 万円	1 月中旬	コーポレートガバナンス協会 事務局 045-263-6965
環境再生保全機構 「地球環境基金助成金」	一般社団法人、一般財団法人、NPO 法人等	開発途上地域又は日本国内で実施する環境保全活動等。	各部門別に助成限度額を設けている	1 月中旬	(独) 環境再生保全機構 044-520-9505
三菱財団 「社会福祉事業」 「研究助成」	社会福祉を目的とする民間の事業(法人)、調査研究(個人、法人)	開拓的ないし実験的な社会福祉を目的とする民間の事業、社会福祉に関する調査研究等。	総額 7,000 万円	1 月下旬	(公財) 三菱財団 03-3214-5754
さわやか福祉財団 「連合・愛のキャンパス」	非営利の任意団体、NPO 法人、グループ、サークル	新たに始める高齢者、こども、障がい者等の助け合い・支え合い活動。	15 万円	1 月末日	(公財) さわやか福祉財団 03-5470-7751
全日本冠婚葬祭互助協会 「社会貢献基金助成」	社会福祉法人、NPO、一般財団法人等	高齢者福祉事業、障害者福祉事業、児童福祉事業等社会貢献に資するあらゆる事業。	200 万円	2 月末日	(一社) 全日本冠婚葬祭互助会 03-3596-0061
NHK 厚生文化事業団 「地域福祉を支援するわかば基金」	地域で活発な福祉活動を進めるグループ(NPO 法人可)	高齢者、障がい者の日常生活支援活動等。 地域の高齢者や障がい者へのパソコン指導等。	第 1 部門・・・ 100 万円 第 2 部門・・・ リサイクルパソコン	(前年度) 3 月末日	(福) NHK 厚生文化事業団 03-3476-5955
げんでんふれあい福井財団 「助成事業」	ボランティア団体等	ボランティア団体等の活動に関する事業。	20 万円	(前年度) 3 月中旬 4 月中旬	(公財) げんでんふれあい福井財団 0770-21-0291

福井県共同募金会が受け付けしている助成事業

詳しくは、福井県共同募金会までお問合せください。〔TEL：0776 - 22 - 1657 ホームページアドレス：http://akaihane-fukui.jp/〕

名 称	助成対象	助成対象分野、条件等	助成額	申込締切	決定(内定)
共同募金助成金（広域助成）	福井を良くしようとがんばっている団体	平成 28 年度に計画する活動費、備品、建物整備	50 万円以内 設備整備は 200 万円以内	5 月下旬	8 月下旬
先駆的・開拓的活動支援事業		平成 27 年度に実施する先駆的・開拓的な福祉事業を支援	50 万円以内		
ステップアップ助成事業		平成 27 年、平成 28 年度と 2 年間継続して助成が必要な事業			
災害等準備金の取崩し助成事業		大規模災害に備えた事業や研修会、緊急に助成が必要な事業			
小林福祉基金の助成事業	身体障害者施設	福祉向上のために実施する事業、備品			
共同募金助成金（地域助成）	地域（市町）を良くしようとがんばっている団体	※期間や助成内容は市町で異なる場合があります。 詳細は各市町共同募金委員会（市町社協）にお問い合わせください。		5 月	8 月
NHK 歳末たすけあい	支援を必要とする方々を対象とした事業をおこなう団体	①歳末たすけあい事業 ②地域福祉事業 ③地域福祉備品	50 万円以内	10 月中旬	12 月上旬
車両競技公益資金記念財団	ボランティア団体	ボランティアに必要な備品	90 万円以内	7 月下旬	9 月下旬
	保育所	補修・改修	300 万円以内		
中央競馬馬主社会福祉財団 施設設備等助成事業	社会福祉法人	車両、備品の購入	100 万円以内	5 月下旬	7 月中旬

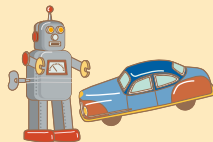
イキイキ活動しています☆

アクティブ・アクション助成事業活動報告

◆アクティブ・アクション助成金とは、生きがい・健康づくり・地域の課題解決を目的とした事業を実施する高齢者の活動団体の設立とその活動に対して行う助成事業です。

おもちゃ病院をきっかけに、地域の人が気軽に集える場にしたい

団体名 **子育てサポーターおもちゃ病院(鯖江市)** 事業名 「子育てサポーターおもちゃ病院」



今年から第2・4木曜の午前中に加え、第4土曜日の午前中には折り紙コーナーも実施しました。より多くの方が来てもらえるよう、子育て支援センターや近所のスーパー等にチラシを配ったり、ケーブルテレビで案内をするなど広報にも努めた結果、壊れたおもちゃを持ってきたり、楽しくおしゃべりや交流をする親子が、毎回3〜4組訪れています。今後は、家に引きこもりがちな高齢者が気軽に集える場にもなるよう活動を続けていきたいです。

坂口の自然を満喫できるウォーキングコースが整備されました。

団体名 **さかぐち歩こう会(越前市)** 事業名 「手軽に歩けるウォーキングコースの整備及びウォーキング会」



これまで10回にわたり案内板の取り付けやコースの目印となる木の植樹を行いました。6回実施したウォーキングは毎回20名程の参加があり、気候の良い季節には地区外の方も参加され、ガイドや地区の高齢者との交流も生まれました。中には、ガイドや地区住民と連絡を取り合い、そば打ち大会やブドウ狩りなどにも参加いただく方もいて、私たちだけでなく地区住民の励みにもなっています。今後も地域内外の交流の場となるよう活動を継続したいです。

男性が気軽に参加できる雰囲気作りを大切にしています。

団体名 **麻生津健康マージャン(福井市)** 事業名 「麻生津健康マージャン」



毎週水曜、麻生津公民館に20名ぐらいが集まり健康マージャンを楽しんでいます。地域の集まりに参加しない男性も参加してもらえるよう、声掛けをして顔見知りができるよう配慮したり、ゲームを楽しんでもらえるような雰囲気作りを大切にしてきました。最近、3地区のサロン活動に招かれ、メンバーと共に健康マージャンの指導を行い、サロン参加者とゲームを楽しむ機会をいただき大変うれしかったです。これからも楽しい雰囲気づくりを大切にしていきたいです。

3月の発表会に向け、楽しくダンスの練習をしています。

団体名 **あじさいクラブ(鯖江市)** 事業名 「健康ダンス教室」



自らも健康で、地域の高齢者にも元気を届けられるよう、また、簡単なステップを地域で教えられよう、月2回練習をしています。メンバーの平均年齢は75歳代。10月には文化祭で初めてダンスを披露し、現在3月13日の「1人暮らしの方の集い」での発表に向け、練習にも熱が入っています。メンバーの中には、教室参加をきっかけに地域の催しや行事にも積極的に参加するようになった方も多く、これからもダンスを通じて地域に元気の輪が広げられるよう頑張ります。

参加者が増え、気軽に声を掛けあえる仲間が増えました

団体名 **いきいきクラブ(福井市)** 事業名 「いきいきクラブ」



「会員みんなが主役に」を心掛け、会員の意見を基に毎月2回の活動年間計画を立て、外部講師だけでなく、会員が講師となり交通安全やオレオレ詐欺防止の講座なども実施しました。また、地域の高齢者に気軽に参加してもらえるよう、会員皆でのチラシ配りや餅つき大会への参加呼び掛けを行い、18名だった会員が27名に増えました。この結果、地域内で気軽に声を掛けあえる人ができ、新たなつながりが生まれています。これからも気軽に集える場として活動を続けたいです。

これからも気軽に利用できる送迎サービスとして、地域の人みんなでサービスの充実を考えたい

団体名 **みそみ地域づくり協議会みまもり部会(若狭町)** 事業名 「みそみ買い物メイト」



私たちは、週4日、集落ごとにグループを分け、町内のショッピングセンターへの買い物送迎を行っています。運転ボランティアは18名、利用登録者は80名です。利用者からは、買い物ができる喜びの声だけでなく、「みんなで出かけられるのが嬉しい」、「車中の会話が楽しい」等の声があり、私たちの励みになっています。開始から8ヵ月が経ち、ボランティアの想いや利用者からの意見・要望などを話し合い、住民が利用しやすいサービスにしていきたいです。

寄贈・寄附

誠にありがとうございました。

2月10日（火）

贈呈者 一般社団法人 生命保険協会福井県協会（福井市）

贈呈先 福祉巡回車（軽自動車 各1台）

敦賀市社会福祉協議会 様

あわら市社会福祉協議会 様



車いす

第二ひかり苑 泉の郷デイサービス 様 2台

エメラルドハウスデイサービスセンター 様 2台

芦原メロン苑デイサービスセンター 様 2台

福井県社会福祉センター 1台



障がい者支援団体助成金

あおい福祉会

10万円

社会福祉事業の発展のために活用させていただきます。

お詫び

本会広報紙1月号「災害時における社協相互支援実地訓練」記事掲載の写真に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

誤

	Aブロック (福井・坂井・奥越)	Bブロック (丹南)	Cブロック (嶺南)
訓練日	6月22日（日）	8月31日（日）	11月9日（日）
訓練会場	福井市民福祉会館、 福井市防災センター 	池田町民グラウンド 	敦賀市福祉総合センター、 中郷公民館、 中郷スポーツ広場 
主な訓練内容	●情報伝達訓練（被害状況の確認、応援職員の派遣要請、被災地支援活動状況の報告等） ●災害ボランティアセンターの設置・運営 ●被災地の災害ボランティアセンターへの応援職員派遣		

正

	Aブロック (福井・坂井・奥越)	Bブロック (丹南)	Cブロック (嶺南)
訓練日	6月22日（日）	8月31日（日）	11月9日（日）
訓練会場	福井市民福祉会館、 福井市防災センター 	池田町民グラウンド 	敦賀市福祉総合センター、 中郷公民館、 中郷スポーツ広場 
主な訓練内容	●情報伝達訓練（被害状況の確認、応援職員の派遣要請、被災地支援活動状況の報告等） ●災害ボランティアセンターの設置・運営 ●被災地の災害ボランティアセンターへの応援職員派遣		

福井県社会福祉センターの耐震補強工事完成!!

昨年7月から実施していた福井県社会福祉センターの耐震補強工事が、2月いっぱいまで完成、今後3月中に完成検査と室内クリーニングを行い、4月1日からリニューアルオープンする運びになりました。



これに先立ち、2月18日に福井県社会福祉協議会の事務所も2階体育館から1階事務室へ先行移転オープンしました。

会員および利用者の皆様には、長らく御不便をおかけして申し訳ありませんでしたが、4月から新しい社会福祉センターでご利用をお待ちしております。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成27年度

ボランティア活動保険

全国200万人加入!!

補償金額（保険金額）

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金		1,200万円	1,800万円
	後遺障害保険金		1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
	入院保険金日額		6,500円	10,000円
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円
	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ	
賠償責任の補償	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)	
	賠償責任保険金 (対人 対物共通)		5億円 (限度額)	5億円 (限度額)

年間保険料

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		300円	450円
天災タイプ※ (基本タイプ+地震・噴火・津波)		430円	650円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

(※)天災タイプでは、天災(地震・噴火・津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(普通傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(普通傷害保険)

福祉サービス総合補償

(普通傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険)

●お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

(引受幹事保険会社) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
TEL: 03(3593)6824

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJK14-16220(2015.2.6))